

予防手術の有効性 最先端の脳血管内治療と



2004年に開設した脳卒中センターは、24時間体制で脳卒中患者を受け入れ、専門医が直ちに治療を開始できる施設として一次脳卒中センターに認定されています。

SCU(脳卒中集中治療室)を12床有し、脳卒中の入院患者数は年間約800人、常に最新の医療機器を導入しながら、積み上げられた実績による高い治療技術を提供しています。脳梗塞や脳動脈瘤等、発症する前に行う予防治療にも力を入れています。

脳卒中センター部長
南 浩昭

頸動脈内膜剥離術(以下、CEA)は、頸動脈の高度な狭窄病変に対する治療法として有効性が証明された治療法です。CEAは首を切るるので驚かますが、頸動脈といふのは切る大体4時間から4・5時間ぐらいの深さで、手術は大体4時間から4・5時間ぐらいで終了します。一方、頸動脈ステント留置術(以下、CAS)はカテーテルによる治療で、切らずに済み、術後も太ももの付け根に2~3mmの穴が残るだけなので、こちらを選ばれる方が多いです。

頸動脈内膜剥離術(CEA)と 頸動脈ステント留置術(CAS)

脳梗塞は心臓に出来た血栓による心原性脳梗塞、頭蓋内細動脈(穿通枝)閉塞によるラクナ梗塞、頸部または頭蓋内主幹動脈の狭窄または閉塞によるアテローム血栓性脳梗塞に大きく分類されます。昨今、発症する前に治療して防ぐ予防手術のニーズが高まっています。このうち外科または血管内治療にて予防可能なものがアテローム血栓性脳梗塞になります。まずMRIと超音波(エコー)検査で血管の状態のスクリーニングを行います。検査により血管が一定の狭窄率を越える状態でリスクが高いと判断した場合には、予防のための手術をお勧めしています。

脳梗塞の発症を検査で予測

定期的なスクリーニングと術後のフォローアップ

CASや脳動脈瘤の血管内治療であれば術後3～4日で退院が可能な場合が多いのですが、開頭すると10日から2週間程度ぐらいかかることもあります。ご高齢の方は入院期間が長くなると運動能力の低下や認知障害を発症することもあり、できるだけ術後、短期間で退院もしくはリハビリを行うことが理想的です。しかし開頭の場合は痛くて動けないこともありますので、ご高齢の方に対しては血管内治療が特に大きなメリットがあると思います。

血管内治療は回復が早く高齢者でも安心

脳動脈瘤の手術に関しては、カテーテルを使った塞栓術と開頭術があります。塞栓術には治療や道具の選び方で非常に多くのバリエーションがあります。塞栓術のコイルは昔と比べると非常に柔らかくて小さいものから太いものまで、非常にバリエーションが増えています。ステントも非常にいいものがたくさん出ており、使いやすくなつたことでリスクがかなり減りました。最新のデバイスを使用するためには資格が必要なものが多く、講習やトレーニングをしっかり受けた実施医が施術を行います。

最新のデバイスを使った脳動脈瘤治療

術後でも再狭窄が起るものと考え、定期的に画像診断をして変化をチェックします。当院はMRIをいつでも施行可能な状態を整えております。最初は3か月、安定すれば年に1回ぐらいは、フォローアップを行います。

脳梗塞は非常に頻度の高い疾患ですが原因が明確なものに関しては手術で防げます。動脈瘤に関しては、くも膜下出血を起こしてからでは予後が悪くなります。動脈硬化のようなリスクファクターをお持ちの方は偶発的に病変が見つかる方も多いので、スクリーニングを行うことをお勧めしております。ぜひご紹介いただければと思います。

インタビュー全文をWEBページにて公開しています。
<https://www.yoshida-hp.or.jp/column/interview/index09.html>

TOPICS

- ・デバイスの選択がカギを握る血栓回収
- ・治療開始までの時間の重要性
- ・脳梗塞の発症を検査で予測
- ・頸動脈内膜剥離術(CEA)で綺麗に治す
- ・切らずに治す頸動脈ステント留置術 (CAS)
- ・フィルターでブラークを回収後、血液を戻す
- ・術後のフォローアップもしっかりと行う
- ・表面に近いところは開頭手術を選択
- ・最新のデバイスを使った脳動脈瘤治療
- ・血管内治療は回復が早く高齢者でも安心
- ・エコーによる定期的なスクリーニングを



吉田病院メールマガジン <https://www.yoshida-hp.or.jp/tiiki/newsletter.html>

日々の診療にお役立て頂ける脳疾患に関する専門的な情報や当院の取り組みをメールマガジンにて配信しています。

※配信停止などはいつでも行って頂けます。

メルマガ登録はこちら



社会医療法人榮昌会
吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6
TEL:078-576-2773 FAX:078-577-2792
<http://www.yoshida-hp.or.jp/>

患者さんのご紹介や当院へのご意見などは地域医療連携室にお気軽にご連絡ください。

TEL:078-576-1520

(平日 9:00～16:30 土曜 9:00～12:00 ※祝祭日は除く)